お姉ちゃんて、いいね

　君がお姉ちゃんとけんかして、ふて寝してしまった夕べ。冷蔵庫の中にアイスクリームが一つだけ残っていた。けんかの原因は、お父さんが見たところ君のほうが悪かった。お父さんはお姉ちゃんに、

「そのアイス、全部食べちゃえ。お姉ちゃんに悪さをした罰だ」と言った。お姉ちゃんはニコッとしてアイスをこたつまで持ってきた。でも、お姉ちゃんはアイスをじっと見て食べようとしない。

「どうしたの？溶けちゃうよ」

「あたし一人で食べてもおいしくないから、明日においとく」

　お父さんは黙ってうなずいた。うれしかった。そのことを君に話したら、君はこう言った。

「お姉ちゃんって、いいね」

　今度はお父さん、涙が出そうになった。二人が仲良くしてくれて、お父さんは、とっても幸せだよ。

応募時（愛知県37歳）竹内祐司